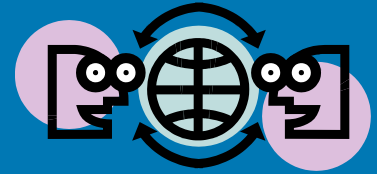




桐



大東文化学園教職員組合連合機関紙
2017年11月15日発行 第1118号

大東文化学園教職員組合連合

〒175-8571 板橋区高島平1-9-1

tel/fax. 03-3935-9505



Facebook
大東文化学園
教職員組合連合

大学組合ホームページ

<http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/>

この号の内容

- 1 定例総会報告
- 2 信任投票のお願い

大学組合 2016/2017 年度定例総会報告

大東文化大学教職員組合 2017 年度定例総会が、11 月 13 日（月）午後6時 45 分から 9 時過ぎまで、板橋校舎3号館 101 教室において開催されました。以下、総会の議事について簡単ながら報告いたします。

午後 6 時 45 分、定刻を過ぎたのを受けて北澤副委員長が総会の開会を宣言、沼口委員長より挨拶がなされました。その後、議長の選出がおこなわれ、山口由二氏（環境創造学科）が議長に選出されました。

議長より成立状況の確認がなされ、出席者 20 名、委任状 79 通により合計 99 名となり、大東文化大学教職員組合規約第 15 条及び 16 条により、組合員総数（海外赴任中の 2 名を除く 184 名）の二分の一以上の出席にて総会が成立している旨の報告が書記局よりなされました。

始めに第一号議案「2016 / 2017 年度活動報告」について沼口執行委員長が説明を行いました。これを受けて質疑応答が行われ、一時金協定書の追記事項について現況の説明が求められました。一時金の削減条件としての事務職員の役職手当の削減、定期昇給年齢上限の引き下げについて協議継続の必要性を再確認し、現在事務職員の人事制度の変更案が提示されているが、その内容が組合の主張し続けている公平性の高い給与体系には程遠いものであることから、更なる要求を固めて協議を申し入れていくこととし、第一号議案は満場一致で承認されました。

次いで第二号議案「2016 / 2017 年度会計報告・会計監査報告」の報告・説明を大杉書記長と会計監査白石裕子氏が行いました。組合会計については、昨年承認された組合の慶弔見舞金規定の改定により慶弔金支出が特に減額され、今年度に限り余剰金が出たものの、組合員数の減少による収入減への対策に本格的に取り組む時期に来ていることを訴えかけました。会計監査については適正に処理されていることが報告され、特に質問はなく、第二号議案は拍手により承認されました。

次に第三号議案「2017 / 2018 年度活動方針案」の提案と趣旨説明を大杉書記長が行いました。労働強化の実態、情報開示問題、組合組織が抱える財政と人手の問題、東松山キャンパスに組合の別室を設けて、労働条件の改善に踏み出し、板橋との労働条件格差をなくしていくこと、新学部・学科設置による教職員の労働強化の実態把握と対応、中長期財政計画の再検討、高校組合との連合における活動方針が出されました。

出席組合員からは大学・学園の執行部に今のこの組織の目的は何なのかを今一度問い、すべてにおいて金銭的な判断によって物事が決められてはいないか、あるべき大学としての姿をもっと訴えてほしいという要望が出ました。これについては、団交や学園執行部との協議、事務折衝において引き続き問いかけると共に、問題点の指摘と是正をする必要があることを確認しました。

また、頻発している爆発予告への対応の問題点を組合がもっと指摘するべきであること、緊急対応組織がどうなっているのかについても明確化を求める声が挙がりました。

活発な議論の後、組合の役割を共有し、総会は同議案を拍手で承認しました。

定例総会開催 投票が行われる

総会を欠席された方は
同封の信任投票用紙の
返送をお願いいたします。
(詳細は2ページ)

目次

- 1、大学組合定例総会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 2、大学組合新役員信任投票のお願い・・・・・・・・・P2

次いで第四号議案「2017/2018年度予算案」について、大杉書記長により提案・説明がなされました。会計報告の中でも提案された連合費の見直しと、引当金取崩額の減額を反映した内容となりました。実績に基づく適正な予算配分を行い、各項目について見直された内容の説明がなされ、総会はこれを承認しました。

最後にその他の議案として、一つ目に出産・育児に関する法律や学園規則について組合員より発言がありました。こうした法律や学園規則について周知されていないために、異なる対応を受けるケースが過去にもあり、今後も制度の正しい運用の為に周知徹底が必要であるというものでした。また、それを組合から発信することで、より充実した制度への意見収集、ひいては先進的な制度への改革へ踏み出せるのではないかと提案がされました。組合執行部は、すでに他大学の情報も得ており、毎年の春闘で取り上げる課題であるので、次年度はより具体的に取り組むことを確認しました。

二つ目に組合の連合について大杉書記長より報告がありました。連合を組む第一高校単組の書記局業務（会計・庶務）の本格的な引継ぎにあたって、10月に行われた単組の活動状況の説明会の内容を報告し、高校組合の総会開催後に引継ぎの詳細を決定すること等、今後の活動方針を示しました。

その後議事は選挙管理委員の選出に移りました。立候補者がいなかったため、執行委員会を代表して沼口執行委員長より、土居良一氏（環境創造学科）、白石裕子氏（法律学科）、岡村與子氏（現代経済学科）、井上浩子氏（政治学科）、牧山悟郎氏（環境創造学部事務室）の5名の推薦があり、拍手にて承認され、互選により選挙管理委員長は土居良一氏となりました。立候補の受付の後、会計監査を含む11名の候補者が執行部推薦され、選挙管理委員会の下で信任投票が行われました。途中退出者および定例総会欠席者に対しては、郵送で投票を行う旨も承認されました。

以上で総会の議事が全て終了したため、土居議長の職が解かれ、最後に沼口執行委員長が閉会の辞を述べて午後9時過ぎに総会は閉会しました。

本年も多くの方々のご協力をもって無事総会を成功させることができました。議長を務めてくださった山口先生、選挙管理委員を引き受けてくださった方々、総会に参加・ご協力くださいましたすべての皆さまに改めて心から感謝申し上げます。今後も組合活動につきまして、組合員のみなさまからのご提案をお寄せいただければ幸いです。（書記局）

◆◆お詫びと訂正◆◆

大学組合員の皆様にお配りした総会議案書の6ページと7ページの内容が入れ違いに印刷されていました。また、桐1117号2ページ「団体交渉報告」の中で一高の教員増員について、教科「情報」のところを学科「情報」と記載していました。大変申し訳ございません。お詫びして訂正いたします。（書記局）

大学組合新役員信任投票のお願い

■■■【重要】大学組合のみなさまへ■■■

組合新役員信任投票用紙をご返送ください。

大学組合規約第十四条ならびに第十五条により、組合新役員信任のための直接投票を行います。総会を欠席されました方、また中途にて退席され、上記投票をなさらなかった方は、同封の投票用紙にてご投票ください。

（該当のみなさまには投票用紙と返信用封筒を同封させていただいております。）

<投票の仕方>

投票用紙は同封の「投票用封筒」に入れ、教職員組合宛返信用封筒（印刷済・切手不要）にて12月4日（月）までにご返送ください。

返信用封筒には投票者確認のため、ご住所・ご氏名を必ずご記入ください。返信用封筒にご記入いただきましたご住所・お名前は投票返信督促を行う際に既返信者を除くための情報としてのみ使用し、使用後は廃棄いたします。中封筒は無記名となりますので、投票内容に対する匿名性は守られます。ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

大学組合新役員信任投票締切

12月4日（月）必着

本紙は大学組合webサイト<http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/>にも掲載しています。

本紙へのご投稿、ご意見、ご質問は daito-un@boreas.dti.ne.jp にお寄せください。